

**総合計画づくりに関する
住民アンケート調査
【報告書】**

令和2年3月

千 早 赤 阪 村

目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的.....	2
2 調査概要	2
3 報告書の見方	2
II. 調査結果.....	3
1 あなた自身のことについて	4
2 千早赤阪村のイメージ	9
3 村への愛着度・村の魅力・定住意向・移住促進	11
4 産業活性化について	17
5 今後の土地利用.....	18
6 むらづくりについて	20
7 地域活動・ボランティア活動、参画・協働について	23
8 金剛山ロープウェイ等のあり方について	23
9 公共施設について	25
10 行政の広域化	27
11 村の望ましい将来像.....	28
12 むらづくりに対するアイデアや提案(自由意見)	30

I . 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、第5次千早赤阪村総合計画の策定に際し、住みよい千早赤阪村の実現を行うために、村民の方に将来の村づくりへの考え方についての調査を実施しました。

2 調査概要

- 調査地域：千早赤阪村全域
- 調査対象者：令和2年3月1日時点における1,000人の対象者を無作為に抽出
- 調査期間：令和2年3月9日（月）～令和2年3月30日（月）
- 調査方法：調査票による本人記入方式（本人が記入できない場合は家族等）郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
住民アンケート調査	1,000 件	487 件	48.7%

3 報告書の見方

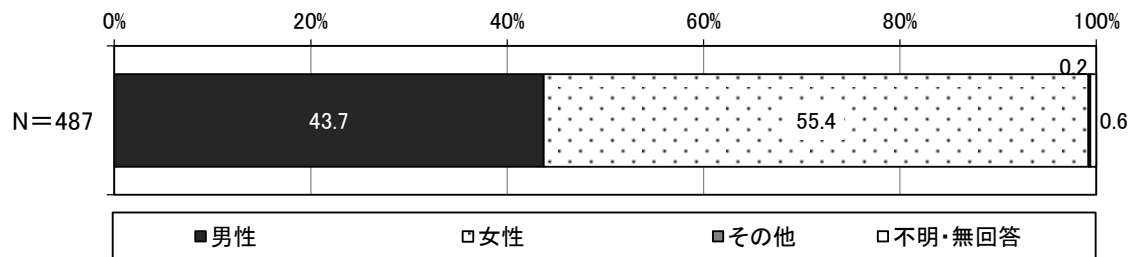
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

Ⅱ. 調査結果

1 あなた自身のことについて

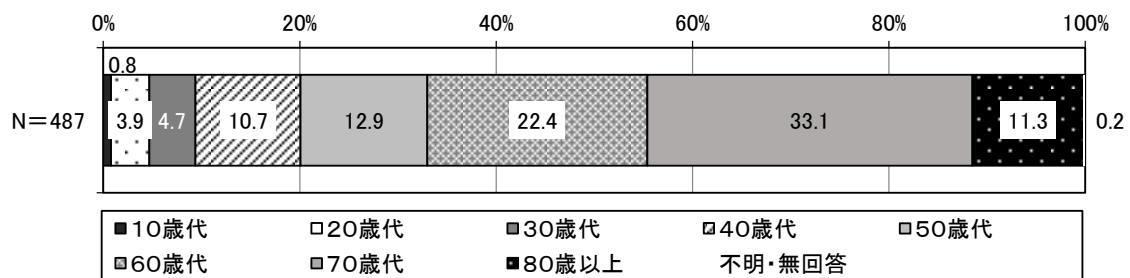
問1. あなたの性別は。(1つに○)

性別は、「男性」が43.7%、「女性」が55.4%となっています。



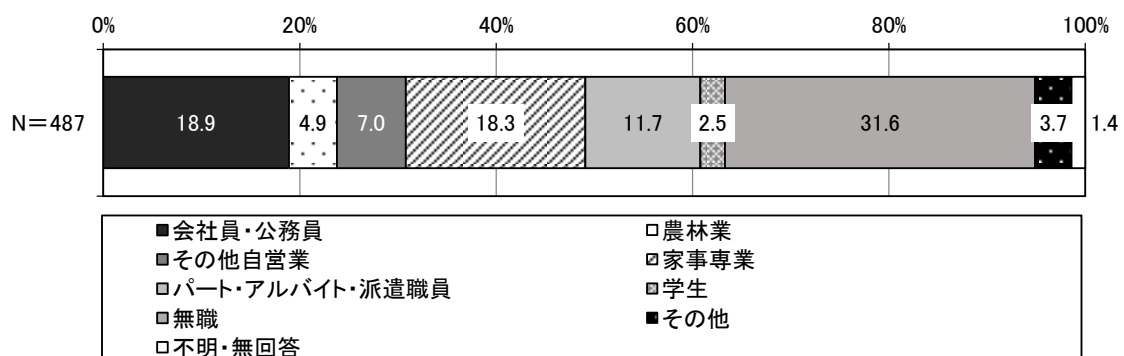
問2. あなたの年齢は。(○は1つ)

年齢は、「70歳代」が33.1%、「60歳代」が22.4%、「50歳代」が12.9%、「80歳以上」が11.3%、「40歳代」が10.7%となっています。



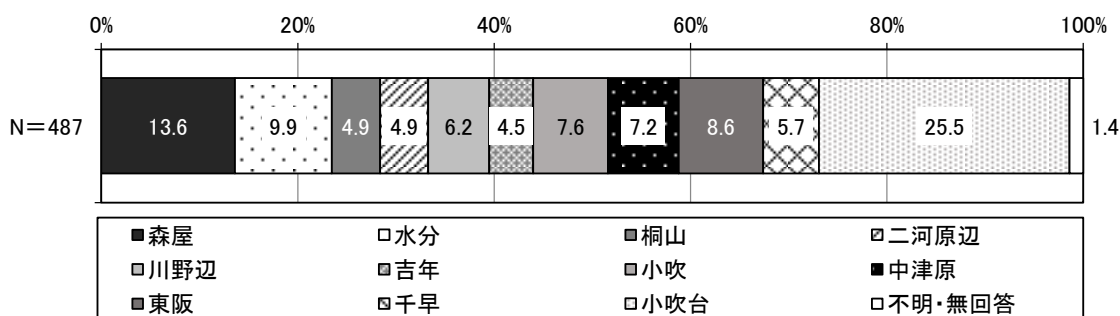
問3. あなたの職業は。(○は1つ)

職業は、「無職」が31.6%と最も高く、次いで「会社員・公務員」が18.9%、「家事専業」が18.3%、「パート・アルバイト・派遣職員」が11.7%となっています。



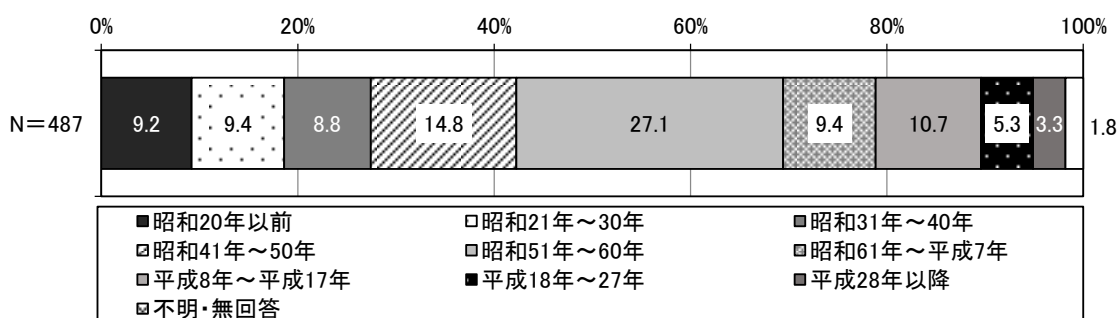
問4. あなたのお住まいは。(〇は1つ)

お住まいは、「小吹台」が25.5%と最も高く、次いで「森屋」が13.6%、「水分」が9.9%、「東阪」が8.6%、「小吹」が7.6%となっています。



問5 あなたは、いつ頃から千早赤阪村にお住まいですか。(〇は1つ)

千早赤阪村での居住については、「昭和51年～60年」が27.1%と最も高く、次いで「昭和41年～50年」が14.8%、「平成8年～平成17年」が10.7%となっています。昭和41年から昭和60年及び平成18年以降の期間を除き、8%～10%台となっています。



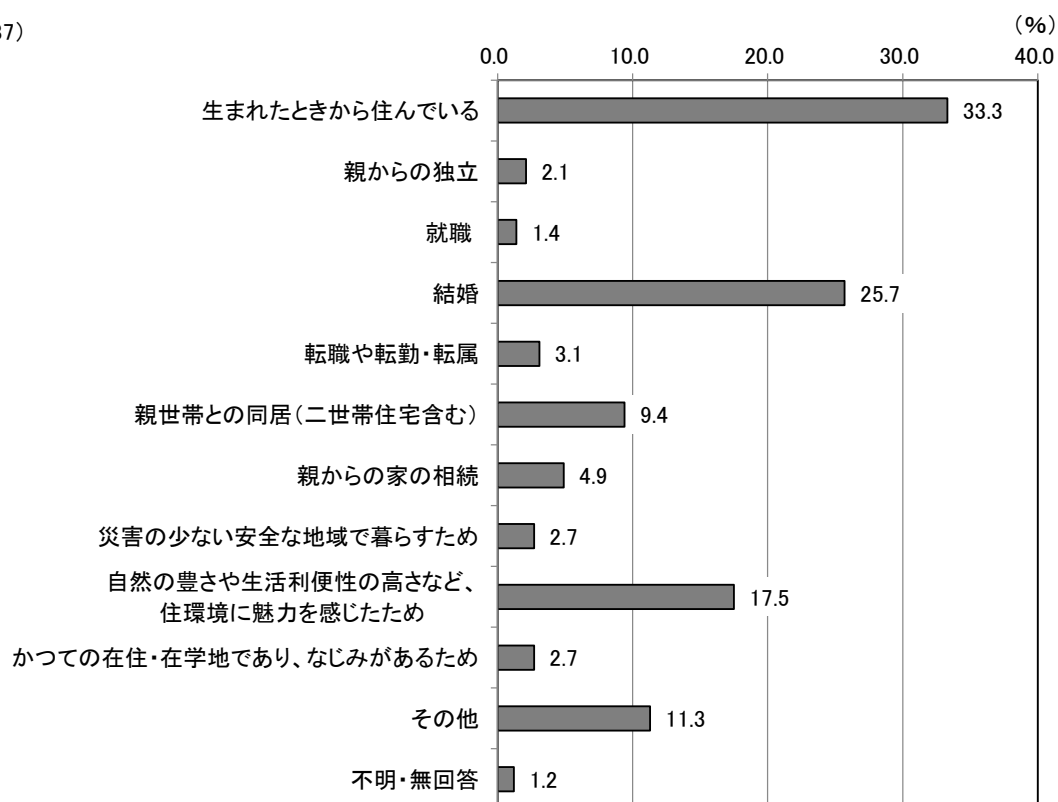
問6. あなたが、千早赤阪村に居住するきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

千早赤阪村に居住するきっかけについては、「生まれたときから住んでいる」が33.3%と最も高く、次いで「結婚」が25.7%、「自然の豊さや生活利便性の高さなど、住環境に魅力を感じたため」が17.5%となっています。

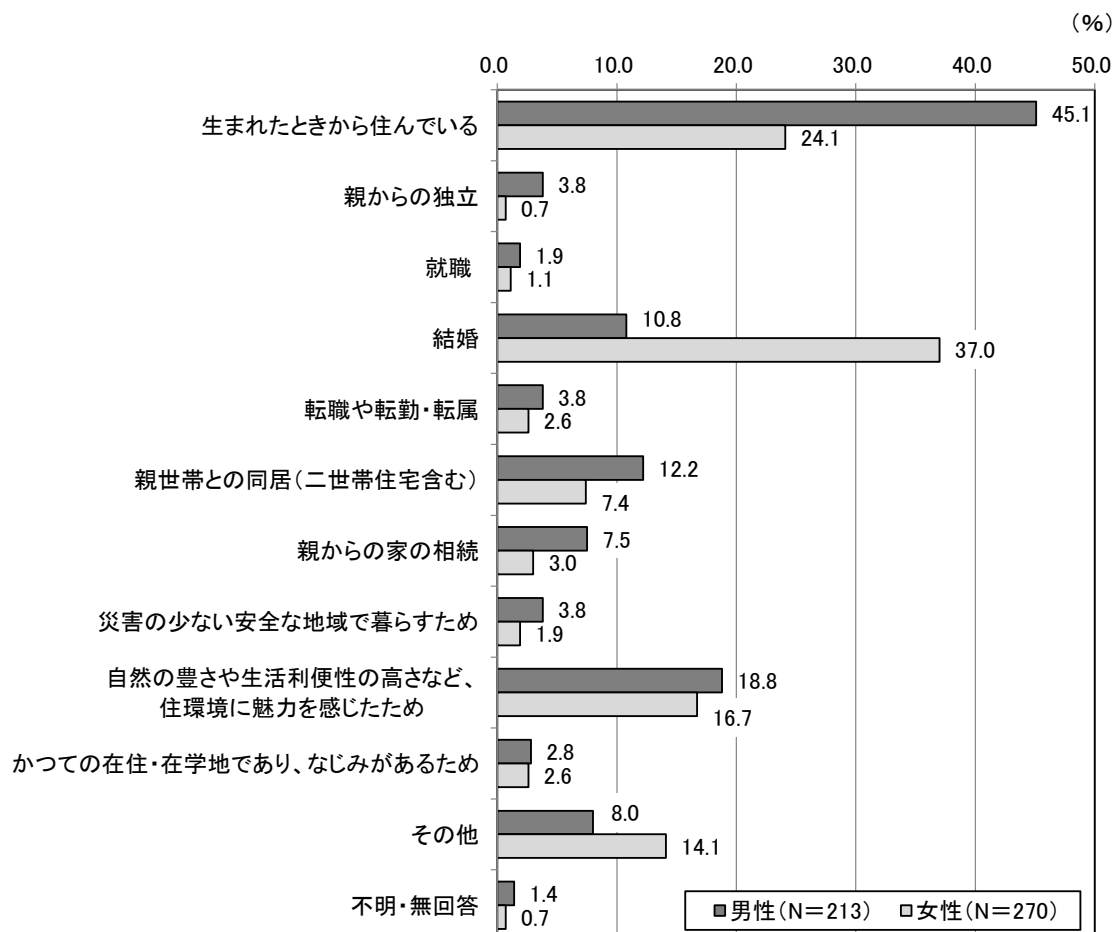
男女別についてみると、男性では「生まれたときから住んでいる」が45.1%と最も高く、次いで「自然の豊さや生活利便性の高さなど、住環境に魅力を感じたため」が18.8%、女性では「結婚」が37.0%と最も高く、次いで「生まれたときから住んでいる」が24.1%となっています。

年代別にみると、10歳代～50歳代までは「生まれたときから住んでいる」、60歳代と80歳以上では「結婚」、70歳代では「自然の豊さや生活利便性の高さなど、住環境に魅力を感じたため」の割合が最も高くなっています。

(N=487)



◇男女別×千早赤阪村に居住するきっかけ



◇年代別×千早赤阪村に居住するきっかけ

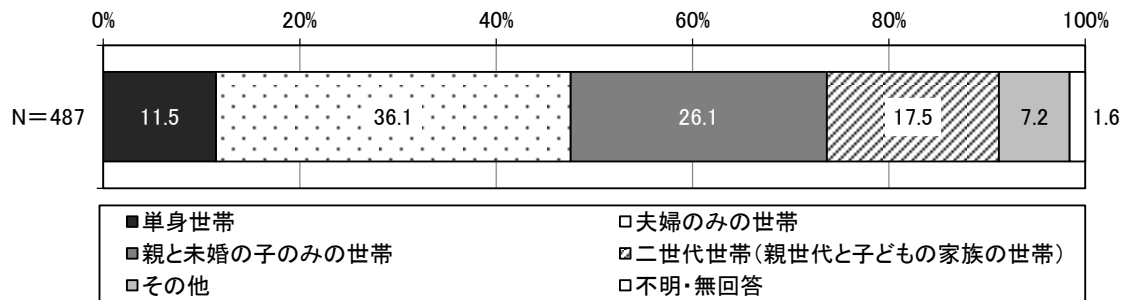
上段:度数 下段:%	合計	生まれたとき から住んで いる	親からの 独立	就職	結婚	転職や転勤・ 転属	親世帯との 同居(二世帯 住宅含む)
10歳代	4	3	0	0	1	0	0
	100.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
20歳代	19	14	0	0	2	0	1
	100.0	73.7	0.0	0.0	10.5	0.0	5.3
30歳代	23	11	0	1	4	0	3
	100.0	47.8	0.0	4.3	17.4	0.0	13.0
40歳代	52	17	2	1	8	1	8
	100.0	32.7	3.8	1.9	15.4	1.9	15.4
50歳代	63	26	1	0	10	1	9
	100.0	41.3	1.6	0.0	15.9	1.6	14.3
60歳代	109	35	2	1	41	4	13
	100.0	32.1	1.8	0.9	37.6	3.7	11.9
70歳代	161	39	5	2	39	6	9
	100.0	24.2	3.1	1.2	24.2	3.7	5.6
80歳以上	55	17	0	2	20	3	3
	100.0	30.9	0.0	3.6	36.4	5.5	5.5

上段:度数 下段:%	合計	親からの 家の相続	災害の少な い安全な地 域で暮らす ため	自然の豊さ や生活利便 性の高さな ど、住環境に 魅力を感じた ため	かつての在 住・在学地で あり、なじみ があるため	その他	不明・無回答
10歳代	4	0	0	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	19	0	0	0	0	1	1
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3
30歳代	23	0	0	1	0	5	0
	100.0	0.0	0.0	4.3	0.0	21.7	0.0
40歳代	52	1	0	10	2	6	0
	100.0	1.9	0.0	19.2	3.8	11.5	0.0
50歳代	63	1	0	12	3	5	1
	100.0	1.6	0.0	19.0	4.8	7.9	1.6
60歳代	109	1	2	13	4	10	1
	100.0	0.9	1.8	11.9	3.7	9.2	0.9
70歳代	161	15	7	41	3	23	1
	100.0	9.3	4.3	25.5	1.9	14.3	0.6
80歳以上	55	6	4	8	1	5	1
	100.0	10.9	7.3	14.5	1.8	9.1	1.8

※網掛けは上位2位までの項目

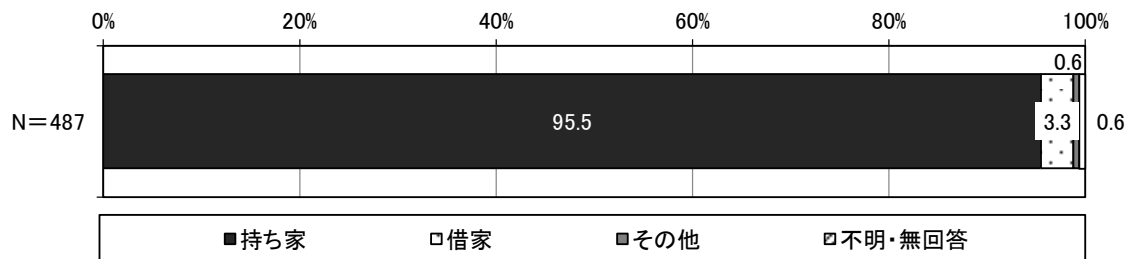
問7. あなたの家族構成は。(〇は1つ)

家族構成については、「夫婦のみの世帯」が 36.1%と最も高く、次いで「親と未婚の子のみの世帯」が 26.1%、「二世世代世帯（親世代と子どもの家族の世帯）」が 17.5%となっています。



問8. あなたの住んでいる住宅の所有形態は。(〇は1つ)

住宅の所有形態については、「持ち家」が 95.5%となっています。



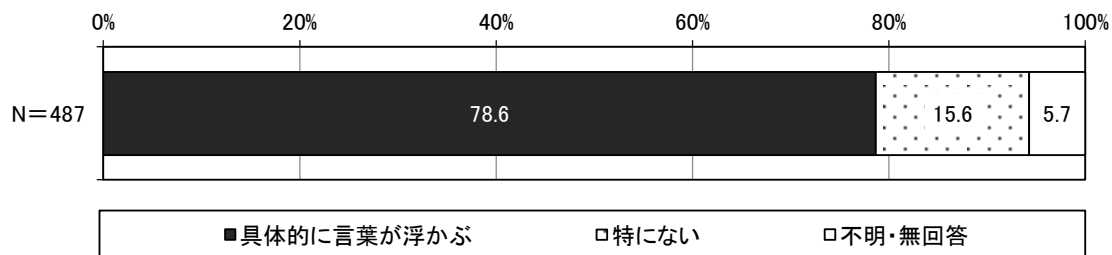
2 千早赤阪村のイメージ

問9. あなたは、千早赤阪村らしさをイメージする時、どのような言葉が浮かびますか？単語または箇条書きで記入をお願いします。（例：自然の豊かさ、棚田の風景、伝統文化、金剛山、歴史、楠木正成など）（数量回答）

「具体的に言葉が浮かぶ」が78.6%、「特にない」が15.6%となっています。

具体的なイメージとしては、「自然の豊かさ」が最も多く、次いで「金剛山」、「楠木正成」、「大阪唯一の村」となっています。

また、自然の豊かさや金剛山から「空気の良さ」、「静かさ」、楠木正成から「歴史」なども上位にあげられています。



◇千早赤阪村のイメージ

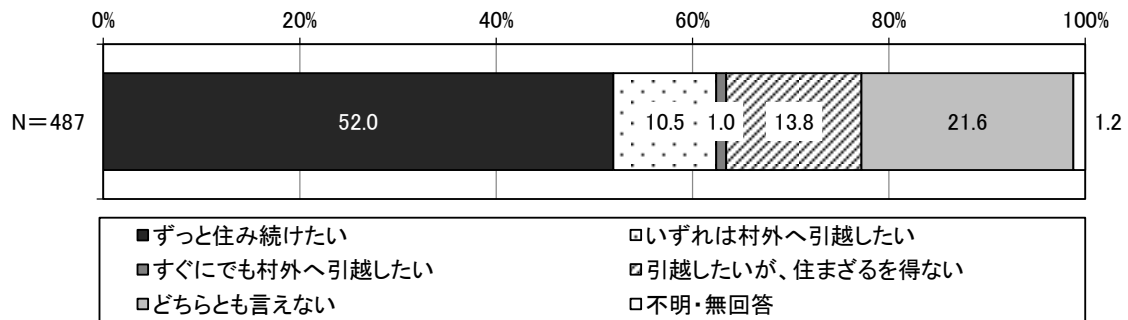
順位	回答数	イメージ	主な内容
1	115	自然の豊かさ	自然の豊かさ、自然がいっぱい、大自然、四季折々の自然等
2	68	金剛山	金剛山、金剛山の春夏秋冬の景色 等
3	43	楠木正成	楠木正成、楠公さん 等
4	24	大阪唯一の村	大阪唯一の村、大阪府下で唯一の村 等
5	17	棚田	棚田、棚田の風景 等
6	17	空気の良さ	空気の良さ、空気がきれい、空気がおいしい 等
7	17	田舎	田舎、いなか、のどかな田舎 等
8	15	不便	不便、交通が不便 等
8	15	歴史	歴史、太平記 等
10	8	静かさ	静か、静けさ、静かさ 等

3 村への愛着度・村の魅力・定住意向・移住促進

問 10. あなたは、千早赤阪村に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

千早赤阪村での居住意向については、「ずっと住み続けたい」が 52.0 と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 21.6%、「引越したいが、住まざるを得ない」が 13.8%となっています。

年代別でみると、20 歳代以下を除いた各年代で「ずっと住み続けたい」、20 歳代では「いずれは村外へ引越したい」の割合が最も高くなっています。



◇年代別×住み続けたいか

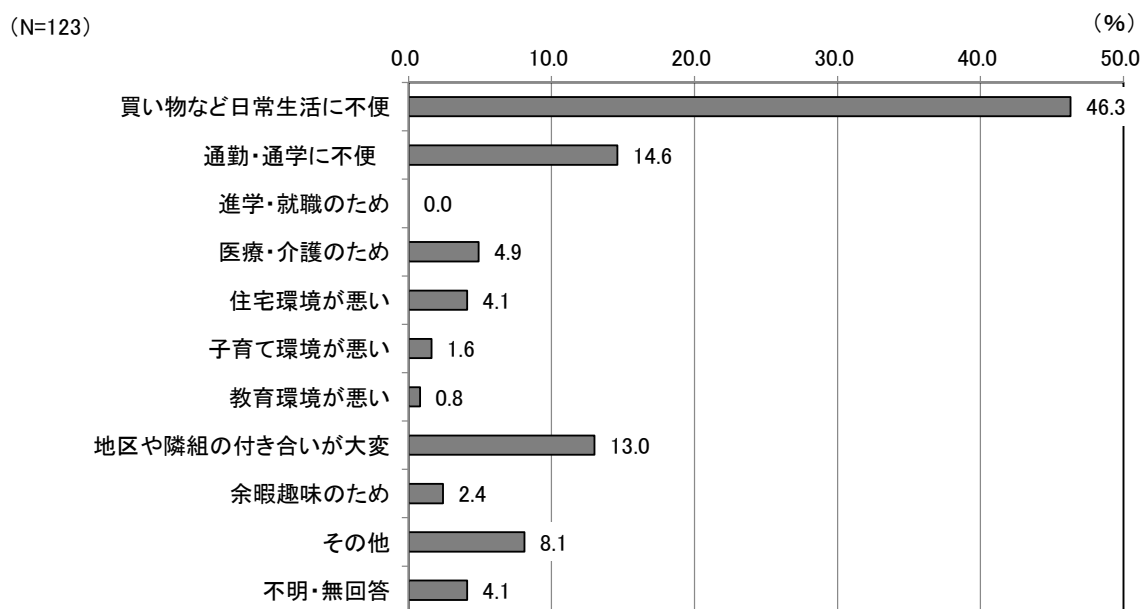
上段:度数 下段:%	合計	ずっと住み続けたい	いずれは村外へ引越したい	すぐにでも村外へ引越したい	引越したいが、住まざるを得ない	どちらとも言えない	不明・無回答
10歳代	4 100.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0
20歳代	19 100.0	5 26.3	7 36.8	0 0.0	1 5.3	5 26.3	1 5.3
30歳代	23 100.0	11 47.8	5 21.7	0 0.0	1 4.3	6 26.1	0 0.0
40歳代	52 100.0	20 38.5	9 17.3	1 1.9	5 9.6	17 32.7	0 0.0
50歳代	63 100.0	31 49.2	6 9.5	1 1.6	12 19.0	13 20.6	0 0.0
60歳代	109 100.0	44 40.4	15 13.8	1 0.9	19 17.4	29 26.6	1 0.9
70歳代	161 100.0	107 66.5	7 4.3	1 0.6	20 12.4	25 15.5	1 0.6
80歳以上	55 100.0	34 61.8	1 1.8	1 1.8	9 16.4	8 14.5	2 3.6

※網掛けは上位2位までの項目

【問 10 で「いずれは村外へ引越したい」又は「すぐにでも村外へ引越したい」、「引越したいが、住まざるを得ない」と回答した方のみ】

問 10－1. 「引越したい」理由は、どのような理由からですか。(○は1つ)

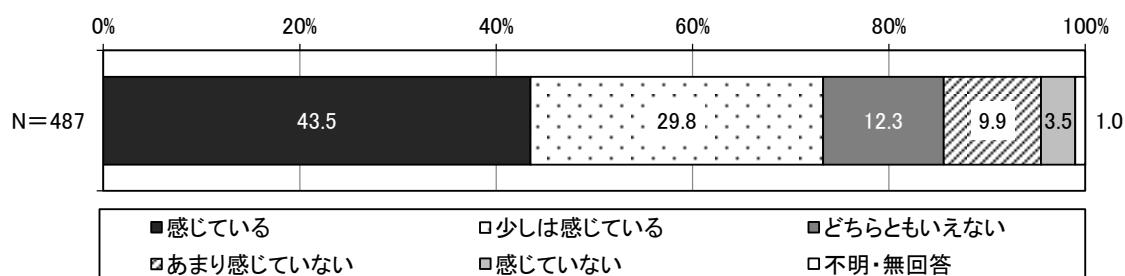
引越したい理由については、「買い物など日常生活に不便」が 46.3%と最も高く、次いで「通勤・通学に不便」が 14.6%、「地区や隣組の付き合いが大変」が 13.0%となっています。



問 11. あなたは、千早赤阪村に愛着や誇りを感じていますか。(○は1つ)

千早赤阪村への愛着や誇りについては、「感じている」が 43.5 と最も高く、次いで「少しは感じている」が 29.8%、「どちらともいえない」が 12.3%、「あまり感じていない」が 9.9%となっています。

感じている（「感じている」＋「少しは感じている」の合計）は 73.3%、感じていない（「あまり感じていない」＋「感じていない」の合計）は 13.4%となっており、全体の 7 割強の人が愛着や誇りを感じています。



【問 11 で「感じている」又は「少しは感じている」と回答した方のみ】

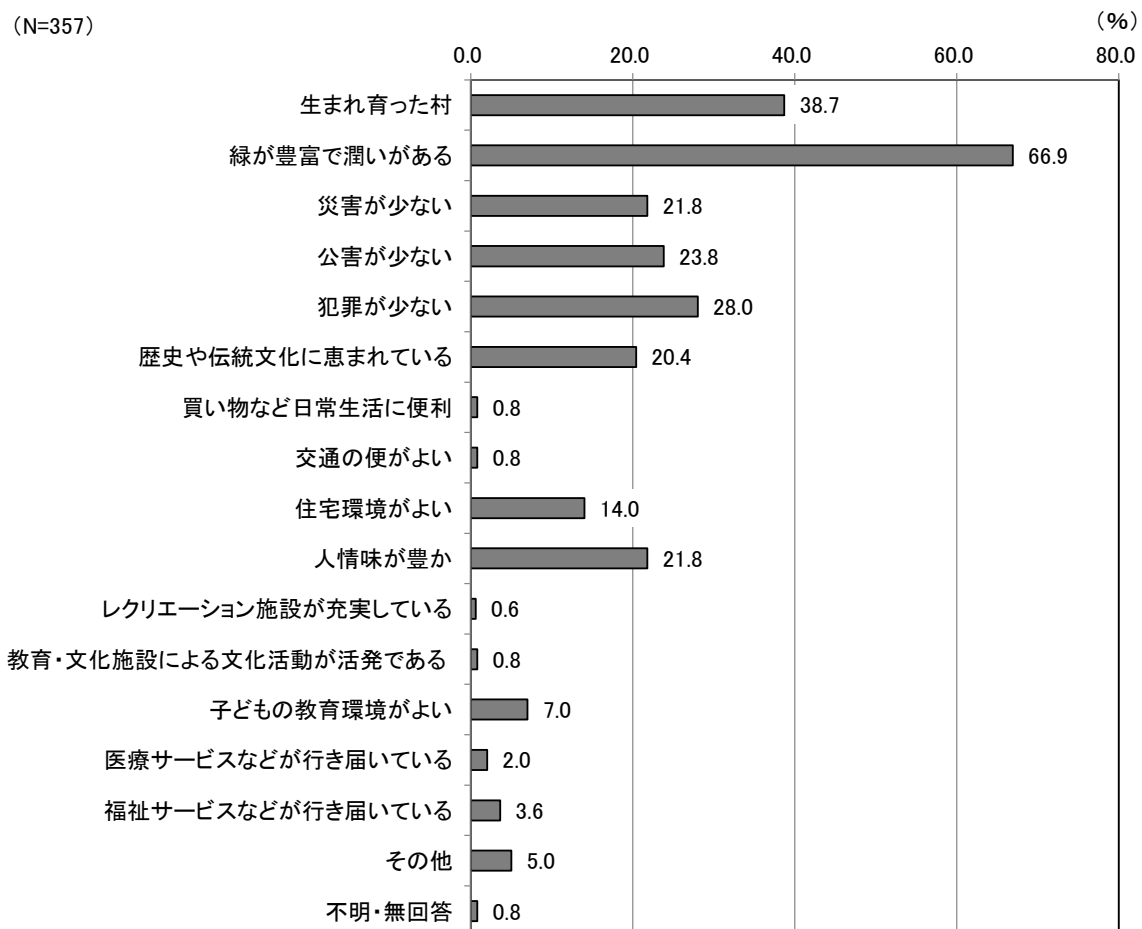
問 11－1. 千早赤阪村に愛着や誇りを感じているのは、どのような理由からですか。

(○は3つまで)

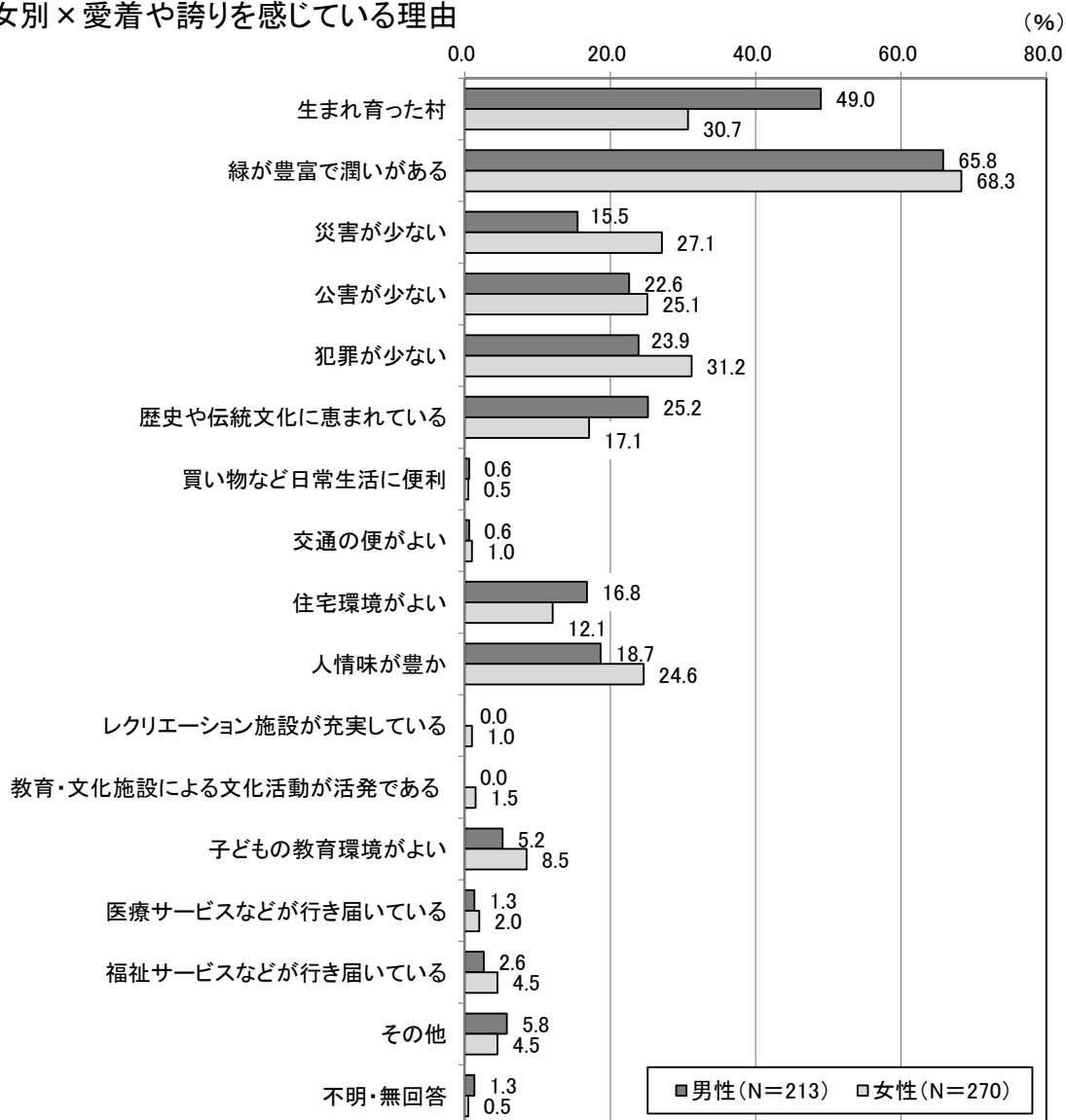
千早赤阪村に愛着や誇りを感じている理由については、「緑が豊富で潤いがある」が 66.9%と最も高く、次いで「生まれ育った村」が 38.7%、「犯罪が少ない」が 28.0%となっています。

男女別にみると、男性、女性とも「緑が豊富で潤いがある」がそれぞれ 65.8%、68.3%と最も高く、次いで男性では「生まれ育った村」、女性では「犯罪が少ない」の割合が高くなっています。

年代別でみると、30 歳代以上では「緑が豊富で潤いがある」、30 歳代以下では「生まれ育った村」の割合が最も高くなっています。



◇男女別×愛着や誇りを感じている理由



◇年代別×愛着や誇りを感じている理由(回答上位9項目のみを表示)

上段:度数 下段:%	合計	生まれ育った村	緑が豊富で潤いがある	災害が少ない	公害が少ない	犯罪が少ない	歴史や伝統文化に恵まれている	住宅環境がよい	人情味が豊か	子どもの教育環境がよい
10歳代	4 100.0	2 66.7	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0
20歳代	19 100.0	12 80.0	9 60.0	4 26.7	2 13.3	6 40.0	3 20.0	1 6.7	3 20.0	2 13.3
30歳代	23 100.0	12 66.7	12 66.7	2 11.1	1 5.6	1 5.6	0 0.0	2 11.1	6 33.3	4 22.2
40歳代	52 100.0	19 45.2	26 61.9	5 11.9	9 21.4	14 33.3	7 16.7	5 11.9	8 19.0	7 16.7
50歳代	63 100.0	18 37.5	35 72.9	6 12.5	12 25.0	9 18.8	10 20.8	8 16.7	5 10.4	4 8.3
60歳代	109 100.0	30 41.7	50 69.4	15 20.8	17 23.6	22 30.6	17 23.6	8 11.1	18 25.0	3 4.2
70歳代	161 100.0	34 28.6	88 73.9	31 26.1	34 28.6	33 27.7	26 21.8	23 19.3	29 24.4	5 4.2
80歳以上	55 100.0	11 27.5	17 42.5	15 37.5	10 25.0	14 35.0	10 25.0	2 5.0	8 20.0	0 0.0

※網掛けは上位2位までの項目

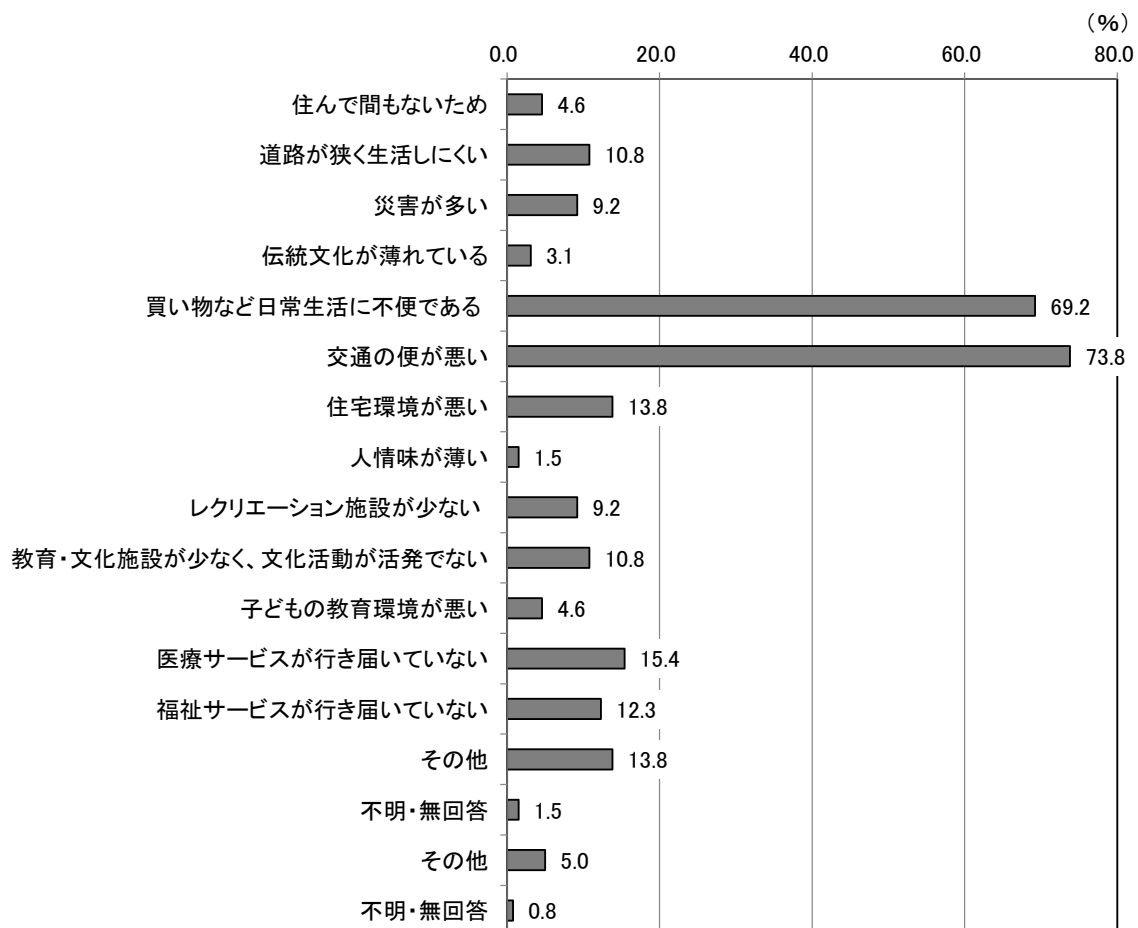
【問 11 で「あまり感じていない」又は「感じていない」と回答した方のみ】

問 11－2. 千早赤阪村に愛着や誇りを感じていないのは、どのような理由からですか。

(○は3つまで)

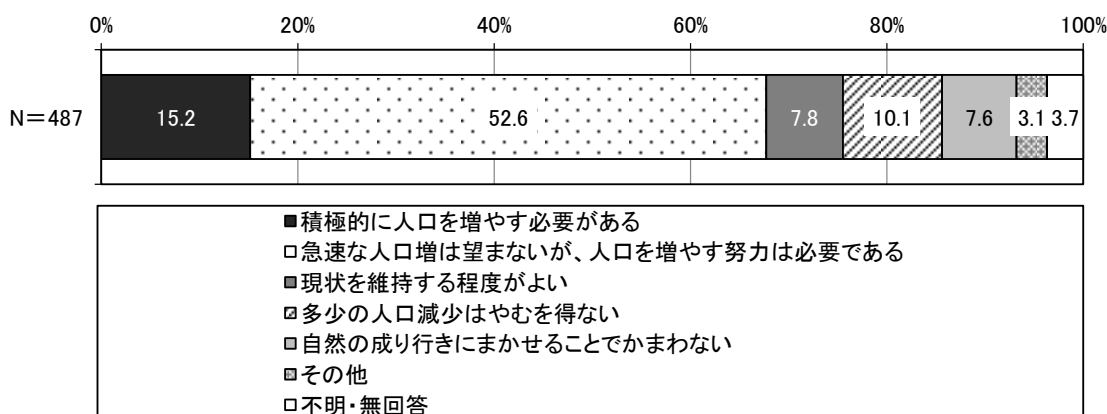
千早赤阪村に愛着や誇りを感じていない理由については、「交通の便が悪い」が 73.8%と最も高く、次いで「買い物など日常生活に不便である」が 69.2%、「医療サービスが行き届いていない」が 15.4%となっています。

交通の便の悪さと買い物など日常生活に不便であることの2点が大きな理由となっています。



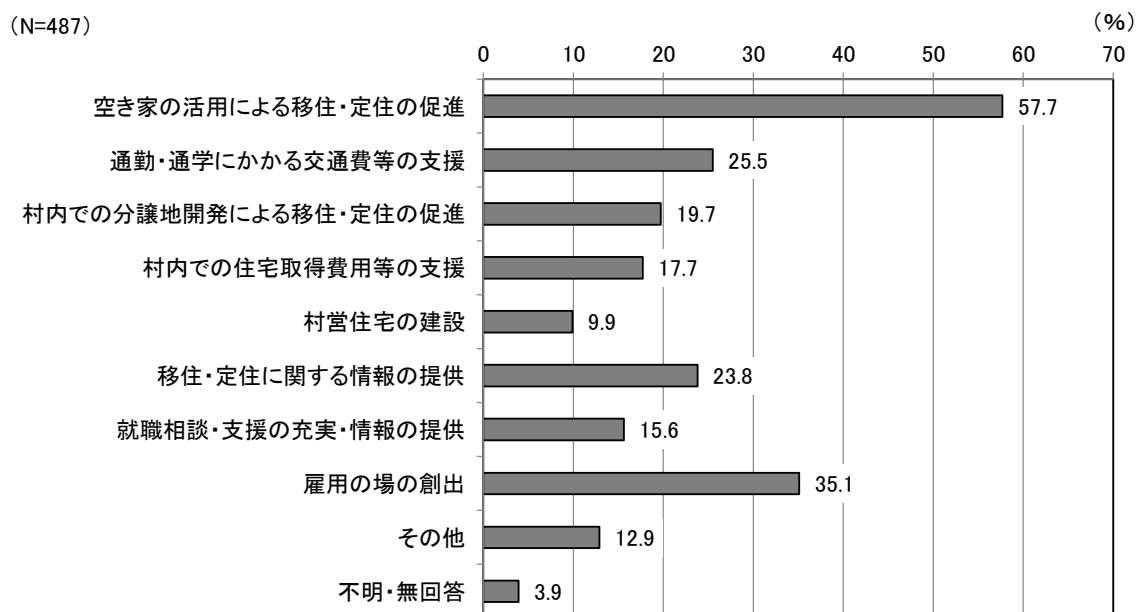
問 12. あなたは、人口減が避けられない中で千早赤阪村の将来人口のあり方についてどう思いますか。(○は1つ)

千早赤阪村の将来人口のあり方については、「急速な人口増は望まないが、人口を増やす努力は必要である」が 52.6%、「積極的に人口を増やす必要がある」が 15.2%、「多少の人口減少はやむを得ない」が 10.1%となっています。



問 13. 村外からの移住を促進したり、千早赤阪村出身者が村内に戻ってくることを村が目指したら、あなたは、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○は3つまで)

移住の促進や本村出身者のUターンなどを目指すために力を入れるべきことについては、「空き家の活用による移住・定住の促進」が 57.7%、「雇用の場の創出」が 35.1%、「通勤・通学にかかる交通費等の支援」が 25.5%となっています。

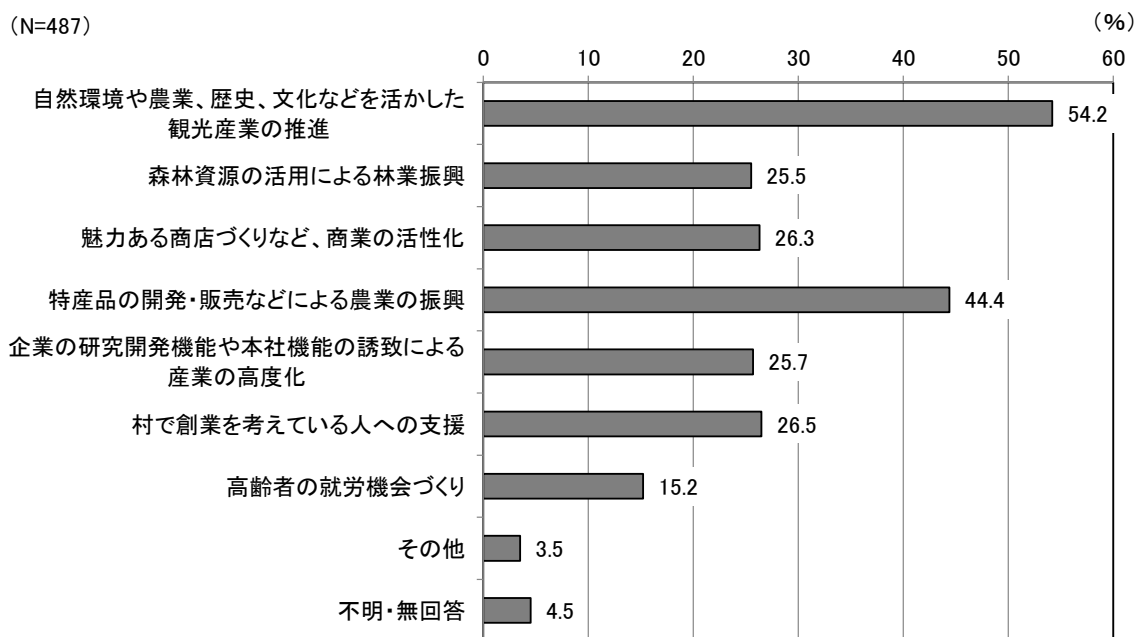


4 産業活性化について

問 14. あなたは、千早赤阪村の産業活性化のために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

産業活性化のために力を入れるべきことについては、「自然環境や農業、歴史、文化などを活かした観光産業の推進」が 54.2%と最も高く、次いで「特産品の開発・販売などによる農業の振興」が 44.4%、「村で創業を考えている人への支援」が 26.5%となっています。

年代別では、30 歳代を除く各世代で「自然環境や農業、歴史、文化などを活かした観光産業の推進」、30 歳代では「特産品の開発・販売などによる農業の振興」の割合が最も高くなっています。



◇年代別×産業活性化のために力を入れるべきこと

上段:度数 下段:%	合計	自然環境 や農業、歴 史、文化な どを活かし た観光産 業の推 進	森林資源 の活用に よる林業 振興	魅力ある 商店づくり など、商業 の活 性化	特産品の 開発・販売 などによる 農業の振 興	企業の研 究開発機 能や本社 機能の誘 致による 産業の高 度化	村で創業 を考えてい る人への 支援	高齢者の 就労機会 づくり	その他	不明・無回 答
10歳代	4 100.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
20歳代	19 100.0	15 78.9	4 21.1	5 26.3	6 31.6	3 15.8	6 31.6	4 21.1	0 0.0	0 0.0
30歳代	23 100.0	13 56.5	4 17.4	7 30.4	14 60.9	5 21.7	8 34.8	1 4.3	2 8.7	1 4.3
40歳代	52 100.0	32 61.5	16 30.8	12 23.1	26 50.0	17 32.7	16 30.8	7 13.5	0 0.0	1 1.9
50歳代	63 100.0	35 55.6	10 15.9	26 41.3	26 41.3	15 23.8	14 22.2	8 12.7	5 7.9	3 4.8
60歳代	109 100.0	69 63.3	24 22.0	29 26.6	53 48.6	31 28.4	27 24.8	19 17.4	5 4.6	1 0.9
70歳代	161 100.0	73 45.3	45 28.0	33 20.5	72 44.7	41 25.5	44 27.3	29 18.0	1 0.6	9 5.6
80歳以上	55 100.0	25 45.5	19 34.5	15 27.3	19 34.5	13 23.6	12 21.8	4 7.3	4 7.3	7 12.7

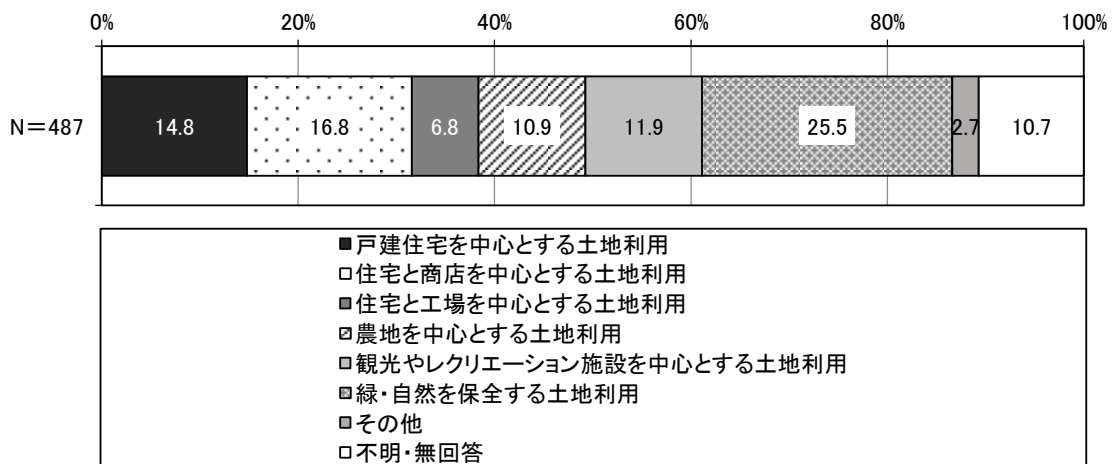
※網掛けは上位2位までの項目

5 今後の土地利用

問 15. あなたの住んでいる地域の周辺は、将来どのような土地利用をすればよいと思いますか。(〇は1つ)

将来の土地利用については、「緑・自然を保全する土地利用」が 25.5%と最も高く、次いで「住宅と商店を中心とする土地利用」が 16.8%、「戸建住宅を中心とする土地利用」が 14.8%となっています。

また、地域別で最も割合が高い項目は、「緑・自然を保全する土地利用」が 6 地区、「住宅と商店を中心とする土地利用」、「農地を中心とする土地利用」がそれぞれ 2 地区、「住宅と工場を中心とする土地利用」が 1 地区となっています。



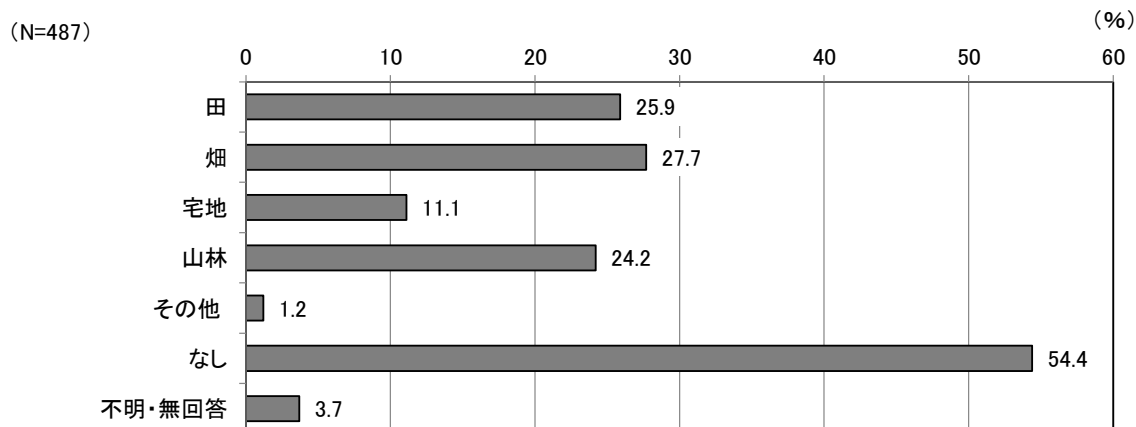
◇地区別×産業活性化のために力を入れるべきこと

上段:度数 下段:%	合計	戸建住宅を中心とする土地利用	住宅と商店を中心とする土地利用	住宅と工場を中心とする土地利用	農地を中心とする土地利用	観光やレクリエーション施設を中心とする土地利用	緑・自然を保全する土地利用	その他	不明・無回答
森屋	66 100.0	16 24.2	19 28.8	5 7.6	8 12.1	7 10.6	6 9.1	2 3.0	3 4.5
水分	48 100.0	7 14.6	7 14.6	3 6.3	5 10.4	9 18.8	11 22.9	1 2.1	5 10.4
桐山	24 100.0	1 4.2	1 4.2	4 16.7	5 20.8	3 12.5	3 12.5	1 4.2	6 25.0
二河原辺	24 100.0	2 8.3	1 4.2	5 20.8	4 16.7	2 8.3	4 16.7	1 4.2	5 20.8
川野辺	30 100.0	4 13.3	4 13.3	1 3.3	7 23.3	2 6.7	5 16.7	3 10.0	4 13.3
吉年	22 100.0	4 18.2	2 9.1	2 9.1	3 13.6	3 13.6	7 31.8	0 0.0	1 4.5
小吹	37 100.0	4 10.8	3 8.1	2 5.4	6 16.2	7 18.9	12 32.4	1 2.7	2 5.4
中津原	35 100.0	1 2.9	4 11.4	3 8.6	3 8.6	2 5.7	13 37.1	2 5.7	7 20.0
東阪	42 100.0	3 7.1	4 9.5	2 4.8	7 16.7	6 14.3	15 35.7	0 0.0	5 11.9
千早	28 100.0	0 0.0	0 0.0	3 10.7	0 0.0	8 28.6	13 46.4	0 0.0	4 14.3
小吹台	124 100.0	30 24.2	36 29.0	3 2.4	5 4.0	9 7.3	33 26.6	1 0.8	7 5.6

※網掛けは上位2位までの項目

問 16. あなたの家族は住居以外で、村内に土地をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

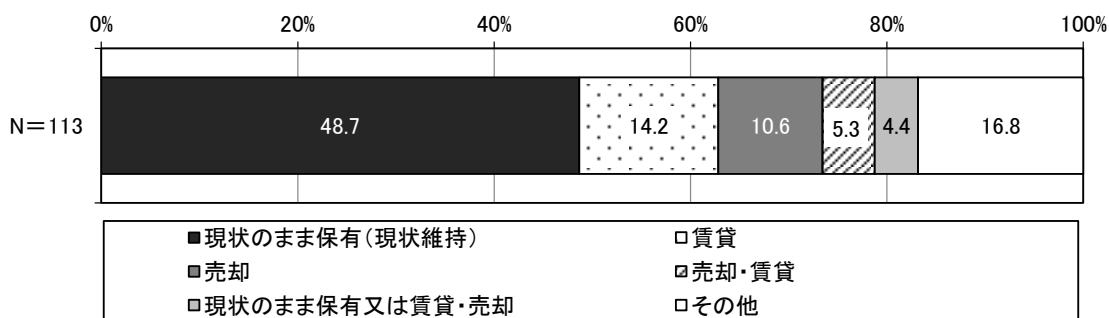
住居以外での村内に所有する土地については、「なし」が54.4%と最も高く、次いで「畑」が27.7%、「田」が25.9%、「山林」が24.2%となっています。



【問 16 で村内に土地を持っていると回答した方のみ】

問 16-1. 将来どのような土地の活用を考えておられますか。(例:現状のまま保有、売却、賃貸、寄付など)(数量回答)

将来の土地の活用については、「現状のまま保有(現状維持)」が48.7%と最も高く、次いで「賃貸」が14.2%、「売却」が10.6%となっています。

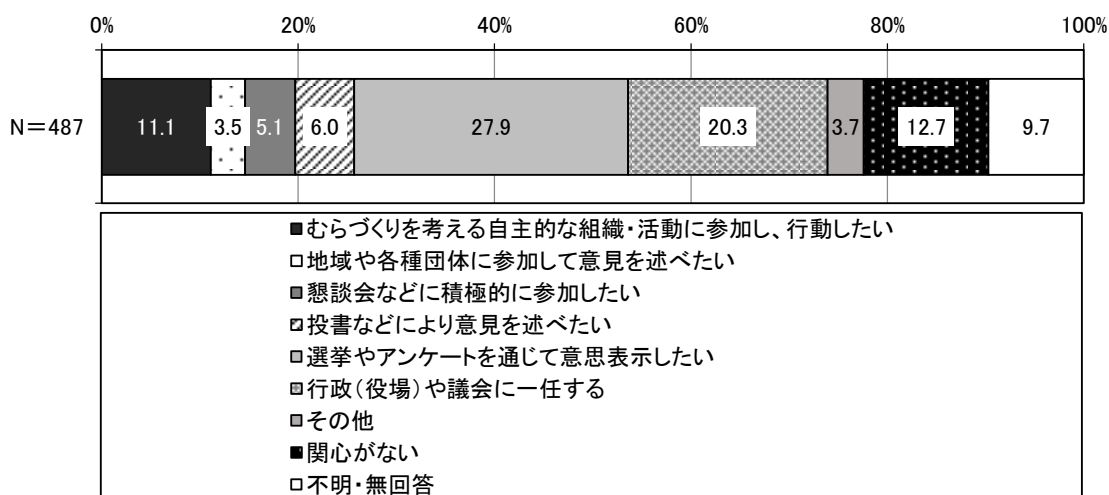


※コメントを数量としてカウントして作成

6 むらづくりについて

問 17. あなたは、むらづくりへの参加についてどう考えていますか。(〇は1つ)

むらづくりへの参加については、「選挙やアンケートを通じて意思表示したい」が27.9%と最も高く、次いで「行政（役場）や議会に一任する」が20.3%、「むらづくりを考える自主的な組織・活動に参加し、行動したい」が11.1%となっています。また、「関心がない」は12.7%となっています。



問 18. 今後、千早赤阪村がむらづくりをする上で重点的に行うべきだと思う分野は何ですか。

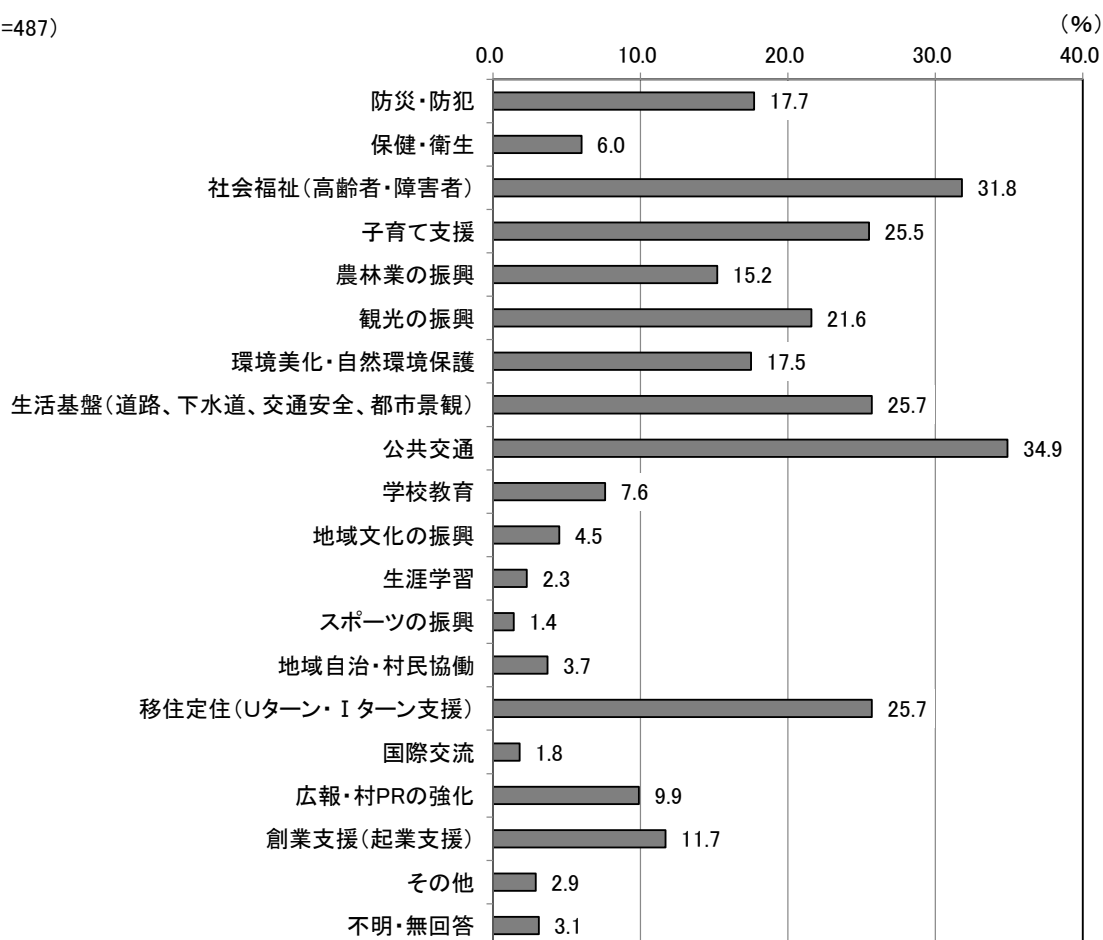
(〇は3つまで)

今後、むらづくりをする上で重点的に行うべき分野については、「公共交通」が34.9%、「社会福祉（高齢者・障害者）」が31.8%、「生活基盤（道路、下水道、交通安全、都市景観）」と「移住定住（Uターン・Iターン支援）」がそれぞれ25.7%となっています。

年代別にみると、60歳代以上では「社会福祉（高齢者・障害者）」、40歳代、50歳代、85歳以上では「公共交通」、20歳代、60歳代では「生活基盤（道路、下水道、交通安全、都市景観）」、30歳代では「子育て支援」、40歳代では「観光の振興」の割合が高くなっています。

地区別にみると、「公共交通」と「社会福祉（高齢者・障害者）」がそれぞれ5地区、「生活基盤（道路、下水道、交通安全、都市景観）」が2地区、「子育て支援」と「観光の振興」、「農林業の振興」がそれぞれ1地区となっています。

(N=487)



◇年代別×今後、むらづくりをする上で重点的に行うべきこと(回答上位9項目のみを表示)

上段:度数 下段:%	合計	防災・防犯	社会福祉 (高齢者・ 障害者)	子育て支 援	農林業の 振興	観光の 振興	環境美化・ 自然環境 保護	生活基盤 (道路、下 水道、交通 安全、都市 景観)	公共交通	移住定住 (Uターン・ Iターン 支援)
10歳代	4 100.0	1 25.0	3 75.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
20歳代	19 100.0	2 10.5	3 15.8	6 31.6	2 10.5	6 31.6	4 21.1	7 36.8	6 31.6	2 10.5
30歳代	23 100.0	6 26.1	5 21.7	12 52.2	2 8.7	3 13.0	3 13.0	7 30.4	7 30.4	4 17.4
40歳代	52 100.0	12 23.1	14 26.9	15 28.8	8 15.4	16 30.8	8 15.4	7 13.5	16 30.8	17 32.7
50歳代	63 100.0	6 9.5	16 25.4	19 30.2	9 14.3	21 33.3	8 12.7	13 20.6	33 52.4	18 28.6
60歳代	109 100.0	21 19.3	37 33.9	30 27.5	18 16.5	18 16.5	23 21.1	37 33.9	34 31.2	33 30.3
70歳代	161 100.0	29 18.0	58 36.0	33 20.5	22 13.7	32 19.9	29 18.0	45 28.0	53 32.9	41 25.5
80歳以上	55 100.0	8 14.5	19 34.5	7 12.7	12 21.8	7 12.7	10 18.2	9 16.4	19 34.5	10 18.2

※網掛けは上位2位までの項目

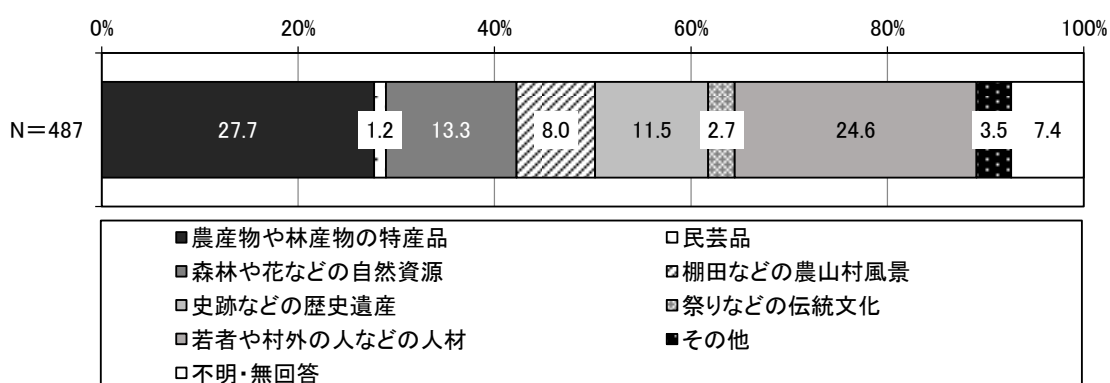
◇地区別×今後、むらづくりをする上で重点的に行うべきこと(回答上位9項目のみを表示)

上段:度数 下段:%	合計	防災・防犯	社会福祉 (高齢者・障 害者)	子育て支援	農林業の 振興	観光の振興	環境美化・ 自然環境 保護	生活基盤 (道路、下水 道、交通安 全、都市景 観)	公共交通	移住定住(ウ ターン・I ターン支援)
森 屋	66 100.0	12 18.2	22 33.3	15 22.7	9 13.6	23 34.8	10 15.2	17 25.8	28 42.4	18 27.3
水分	48 100.0	8 16.7	18 37.5	12 25.0	3 6.3	10 20.8	8 16.7	11 22.9	21 43.8	9 18.8
桐山	24 100.0	5 20.8	7 29.2	6 25.0	3 12.5	5 20.8	2 8.3	5 20.8	11 45.8	4 16.7
二河原辺	24 100.0	3 12.5	8 33.3	4 16.7	6 25.0	4 16.7	5 20.8	8 33.3	6 25.0	7 29.2
川野辺	30 100.0	1 3.3	5 16.7	11 36.7	6 20.0	7 23.3	4 13.3	7 23.3	7 23.3	11 36.7
吉年	22 100.0	5 22.7	7 31.8	4 18.2	2 9.1	4 18.2	3 13.6	6 27.3	7 31.8	6 27.3
小吹	37 100.0	7 18.9	8 21.6	11 29.7	8 21.6	8 21.6	4 10.8	12 32.4	11 29.7	9 24.3
中津原	35 100.0	7 20.0	11 31.4	6 17.1	7 20.0	3 8.6	4 11.4	10 28.6	15 42.9	7 20.0
東阪	42 100.0	6 14.3	15 35.7	5 11.9	15 35.7	9 21.4	8 19.0	10 23.8	13 31.0	16 38.1
千早	28 100.0	7 25.0	9 32.1	5 17.9	4 14.3	8 28.6	6 21.4	9 32.1	8 28.6	6 21.4
小吹台	124 100.0	23 18.5	45 36.3	44 35.5	10 8.1	23 18.5	30 24.2	28 22.6	40 32.3	31 25.0

※網掛けは上位2位までの項目

問 19. 千早赤阪村が活性化するためには、どのような地域資源を活かしていけばよいと考えま
すか。(○は1つ)

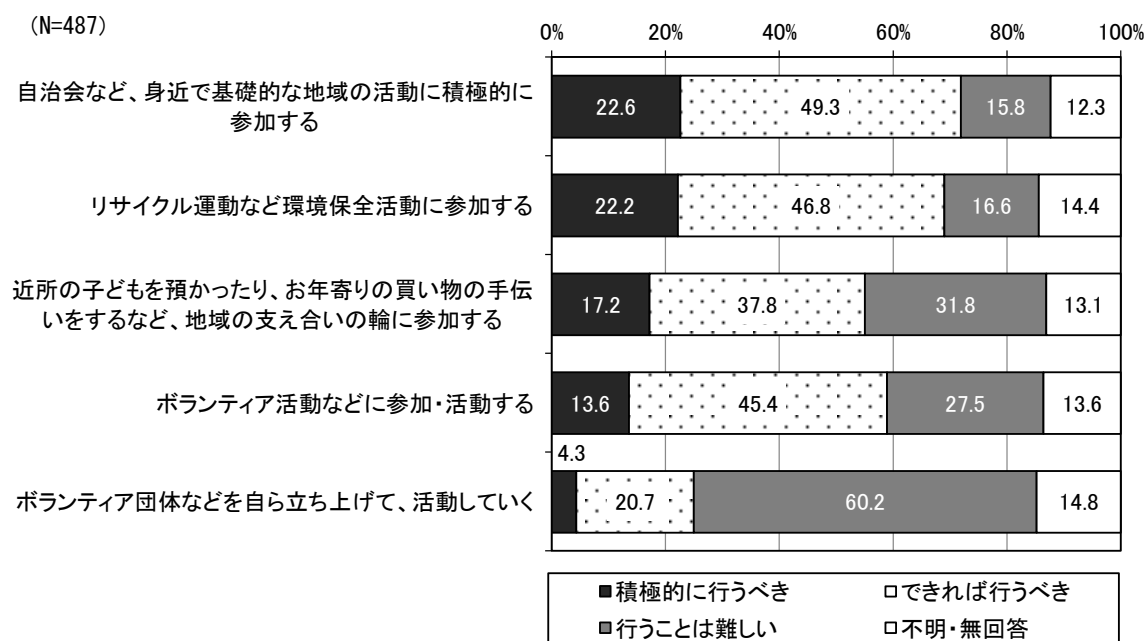
本村が活性化するために活かすべき地域資源については、「農産物や林産物の特産品」が 27.7%と最も高く、次いで「若者や村外の人などの人材」が 24.6%、「森林や花などの自然資源」が 13.3%となっています。



7 地域活動・ボランティア活動、参画・協働について

問 20. あなたは、これからの地域社会において、住民がどの程度の役割を担っていかなければならないと思いますか。次のそれぞれの項目について、あなたのお考えに近い番号をそれぞれ選んでください。(○はそれぞれ1つ)

これからの地域社会において、住民が担うべき役割については、「積極的に行うべき」では『自治会など、身近で基礎的な地域の活動に積極的に参加する』が22.6%、「できれば行うべき」でも『自治会など、身近で基礎的な地域の活動に積極的に参加する』が49.3%と最も高くなっています。一方、「行うことは難しい」では『ボランティア団体などを自ら立ち上げて、活動していく』が60.2%と最も高くなっています。

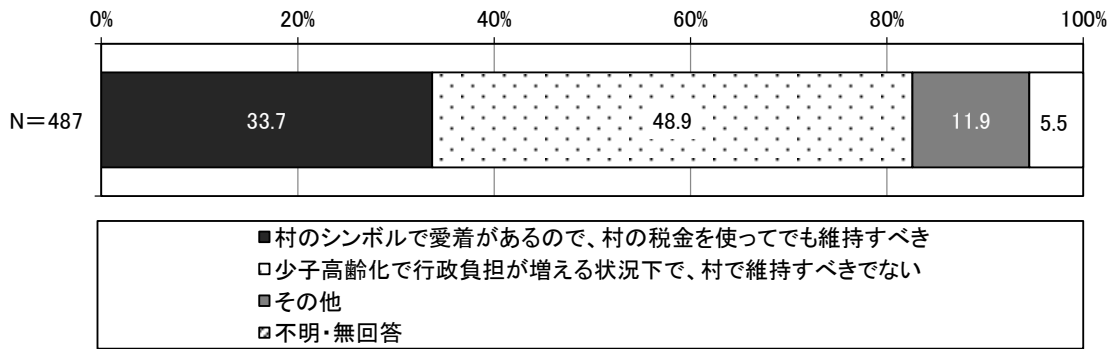


8 金剛山ロープウェイ等のあり方について

問 21. 金剛山ロープウェイのあり方について。(○は1つ)

金剛山ロープウェイのあり方については、「少子高齢化で行政負担が増える状況下で、村で維持すべきでない」が48.9%、「村のシンボルで愛着があるので、村の税金を使ってでも維持すべき」が33.7%となっています。

年代別にみると、20歳代、40歳代、60歳代以上で「少子高齢化で行政負担が増える状況下で、村で維持すべきでない」、30歳代、50歳代で「村のシンボルで愛着があるので、村の税金を使ってでも維持すべき」の割合が高くなっています。



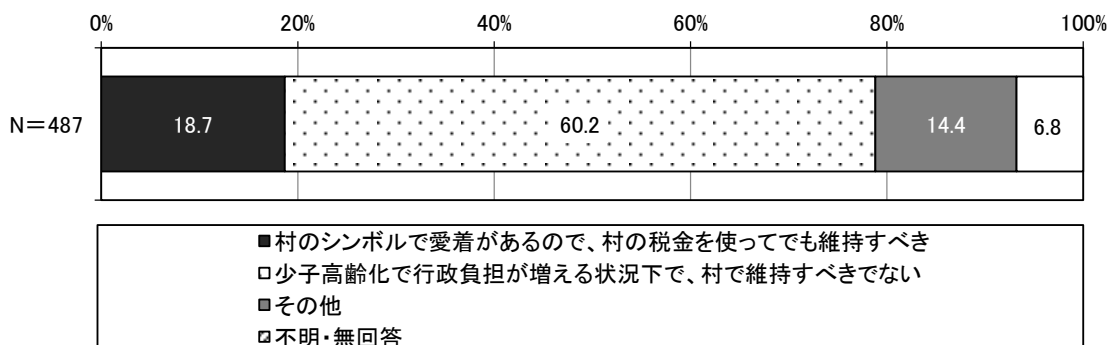
◇年代別×金剛山ロープウェイのあり方

上段:度数 下段:%	合計	村のシンボルで愛着があるので、村の税金を使ってでも維持すべき	少子高齢化で行政負担が増える状況下で、村で維持すべきでない	その他	不明・無回答
10歳代	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
20歳代	19 100.0	6 31.6	10 52.6	3 15.8	0 0.0
30歳代	23 100.0	11 47.8	7 30.4	4 17.4	1 4.3
40歳代	52 100.0	13 25.0	26 50.0	12 23.1	1 1.9
50歳代	63 100.0	31 49.2	22 34.9	7 11.1	3 4.8
60歳代	109 100.0	31 28.4	61 56.0	14 12.8	3 2.8
70歳代	161 100.0	51 31.7	90 55.9	13 8.1	7 4.3
80歳以上	55 100.0	18 32.7	20 36.4	5 9.1	12 21.8

※網掛けは上位2位までの項目

問 22. 香楠荘のあり方について。(○は1つ)

香楠荘のあり方については、「少子高齢化で行政負担が増える状況下で、村で維持すべきでない」が60.2%、「村のシンボルで愛着があるので、村の税金を使ってでも維持すべき」が18.7%となっています。



9 公共施設について

問 22. あなたは千早赤阪村の公共施設などをどの程度利用されていますか、また施設の必要度についてどのように思いますか。下の各公共施設について、利用される度合いを利用度及び必要度からそれぞれ1つだけ選んで数字を記入ください。

公共施設などの利用度については、「1年間に1回以上」では『道の駅 ちはやあかさか』が24.4%、「過去（1年以上前）に利用したのみである」では『金剛山ロープウェイ』の42.7%を始めとして5施設、「全く利用したことがない」では『テニスコート』の60.2%を始めとして15施設で最も高くなっています。

【利用度】

上段:度数 下段: %	合計	1週間に1回以上	1ヶ月に1回以上	1年間に1回以上	過去(1年以上前)に利用したのみである	全く利用したことがない	不明・無回答
(ア) くすのきホール ホール	487 100.0	13 2.7	21 4.3	98 20.1	154 31.6	90 18.5	111 22.8
(イ) くすのきホール 図書室	487 100.0	11 2.3	37 7.6	59 12.1	115 23.6	148 30.4	117 24.0
(ウ) くすのきホール 会議室	487 100.0	5 1.0	8 1.6	60 12.3	85 17.5	201 41.3	128 26.3
(エ) くすのきホール 和室	487 100.0	2 0.4	2 0.4	18 3.7	61 12.5	272 55.9	132 27.1
(オ) くすのきホール 視聴覚室	487 100.0	0 0.0	3 0.6	19 3.9	44 9.0	286 58.7	135 27.7
(カ) いきいきサロン くすのき	487 100.0	20 4.1	30 6.2	40 8.2	46 9.4	242 49.7	109 22.4
(キ) いきいきサロン やまゆり	487 100.0	18 3.7	17 3.5	25 5.1	30 6.2	276 56.7	121 24.8
(ク) 保健センター(診療所を除く)	487 100.0	14 2.9	23 4.7	100 20.5	121 24.8	111 22.8	118 24.2
(ケ) 国保診療所(千早診療所を含む)	487 100.0	11 2.3	30 6.2	79 16.2	79 16.2	176 36.1	112 23.0
(コ) 郷土資料館	487 100.0	6 1.2	10 2.1	19 3.9	147 30.2	176 36.1	129 26.5
(サ) コミュニティホール(千早小吹台小学校内)	487 100.0	3 0.6	4 0.8	13 2.7	54 11.1	281 57.7	132 27.1
(シ) B&G海洋センター体育館	487 100.0	13 2.7	7 1.4	49 10.1	152 31.2	141 29.0	125 25.7
(ス) B&G海洋センタープール(開放期間中)	487 100.0	4 0.8	8 1.6	28 5.7	136 27.9	185 38.0	126 25.9
(セ) 村民運動場	487 100.0	7 1.4	17 3.5	49 10.1	151 31.0	149 30.6	114 23.4
(ソ) テニスコート	487 100.0	6 1.2	2 0.4	6 1.2	46 9.4	293 60.2	134 27.5
(タ) 道の駅 ちはやあかさか	487 100.0	23 4.7	59 12.1	119 24.4	104 21.4	84 17.2	98 20.1
(チ) 金剛山ロープウェイ	487 100.0	5 1.0	5 1.0	30 6.2	208 42.7	117 24.0	122 25.1
(ツ) 村営宿泊施設 香楠荘	487 100.0	1 0.2	2 0.4	10 2.1	99 20.3	245 50.3	130 26.7
(テ) 農産物直売所	487 100.0	11 2.3	25 5.1	90 18.5	115 23.6	131 26.9	115 23.6
(ト) ちびっこ広場	487 100.0	3 0.6	12 2.5	22 4.5	70 14.4	245 50.3	135 27.7
(ナ) 役場小吹台連絡所	487 100.0	11 2.3	13 2.7	70 14.4	31 6.4	243 49.9	119 24.4

一方、必要度についてみると、「必要である」では『国保診療所（千早診療所を含む）』の 49.8%を始めとして 10 施設、「あってもよい」では『農産物直売所』の 34.7%を始めとして 10 施設、「なくてもよい」では『村営宿泊施設 香楠荘』の 26.3%が最も高くなっています。

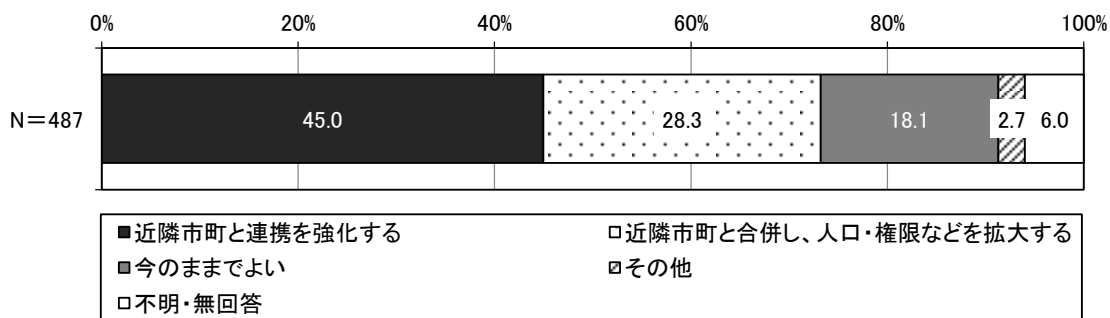
【必要度】

上段:度数 下段: %	合計	必要である	あってもよい	なくてもよい	その他	不明・無回答
(ア) くすのきホール ホール	487	185	120	26	20	136
	100.0	38.0	24.6	5.3	4.1	27.9
(イ) くすのきホール 図書室	487	189	112	24	19	143
	100.0	38.8	23.0	4.9	3.9	29.4
(ウ) くすのきホール 会議室	487	126	133	49	27	152
	100.0	25.9	27.3	10.1	5.5	31.2
(エ) くすのきホール 和室	487	66	134	100	31	156
	100.0	13.6	27.5	20.5	6.4	32.0
(オ) くすのきホール 視聴覚室	487	68	137	85	38	159
	100.0	14.0	28.1	17.5	7.8	32.6
(カ) いきいきサロン くすのき	487	127	136	42	35	147
	100.0	26.1	27.9	8.6	7.2	30.2
(キ) いきいきサロン やまゆり	487	118	139	40	36	154
	100.0	24.2	28.5	8.2	7.4	31.6
(ク) 保健センター(診療所を除く)	487	234	92	3	12	146
	100.0	48.0	18.9	0.6	2.5	30.0
(ケ) 国保診療所(千早診療所を含む)	487	240	74	12	14	147
	100.0	49.3	15.2	2.5	2.9	30.2
(コ) 郷土資料館	487	125	157	40	17	148
	100.0	25.7	32.2	8.2	3.5	30.4
(サ) コミュニティホール(千早小吹台小学校内)	487	77	130	67	54	159
	100.0	15.8	26.7	13.8	11.1	32.6
(シ) B&G海洋センター体育館	487	169	123	28	17	150
	100.0	34.7	25.3	5.7	3.5	30.8
(ス) B&G海洋センタープール(開放期間中)	487	161	127	34	17	148
	100.0	33.1	26.1	7.0	3.5	30.4
(セ) 村民運動場	487	204	105	14	15	149
	100.0	41.9	21.6	2.9	3.1	30.6
(ソ) テニスコート	487	99	143	68	20	157
	100.0	20.3	29.4	14.0	4.1	32.2
(タ) 道の駅 ちはやあかさか	487	143	138	41	22	143
	100.0	29.4	28.3	8.4	4.5	29.4
(チ) 金剛山ロープウェイ	487	129	110	86	21	141
	100.0	26.5	22.6	17.7	4.3	29.0
(ツ) 村営宿泊施設 香楠荘	487	66	116	128	24	153
	100.0	13.6	23.8	26.3	4.9	31.4
(テ) 農産物直売所	487	112	169	42	16	148
	100.0	23.0	34.7	8.6	3.3	30.4
(ト) ちびっこ広場	487	103	138	53	32	161
	100.0	21.1	28.3	10.9	6.6	33.1
(ナ) 役場小吹台連絡所	487	153	115	38	28	153
	100.0	31.4	23.6	7.8	5.7	31.4

10 行政の広域化

問 24. これからの時代によっては、行政のあり方が大きく変わることも考えられます。行政の広域化についてどのようにお考えですか。(○は1つ)

行政の広域化については、「近隣市町と連携を強化する」が 45.0%と最も高く、次いで「近隣市町と合併し、人口・権限などを拡大する」が 28.3%、「今のままでよい」が 18.1%となっています。



11 村の望ましい将来像

問 25. あなたは、将来、千早赤阪村がどのような“むら”であってほしいとお考えですか。

(○は3つまで)

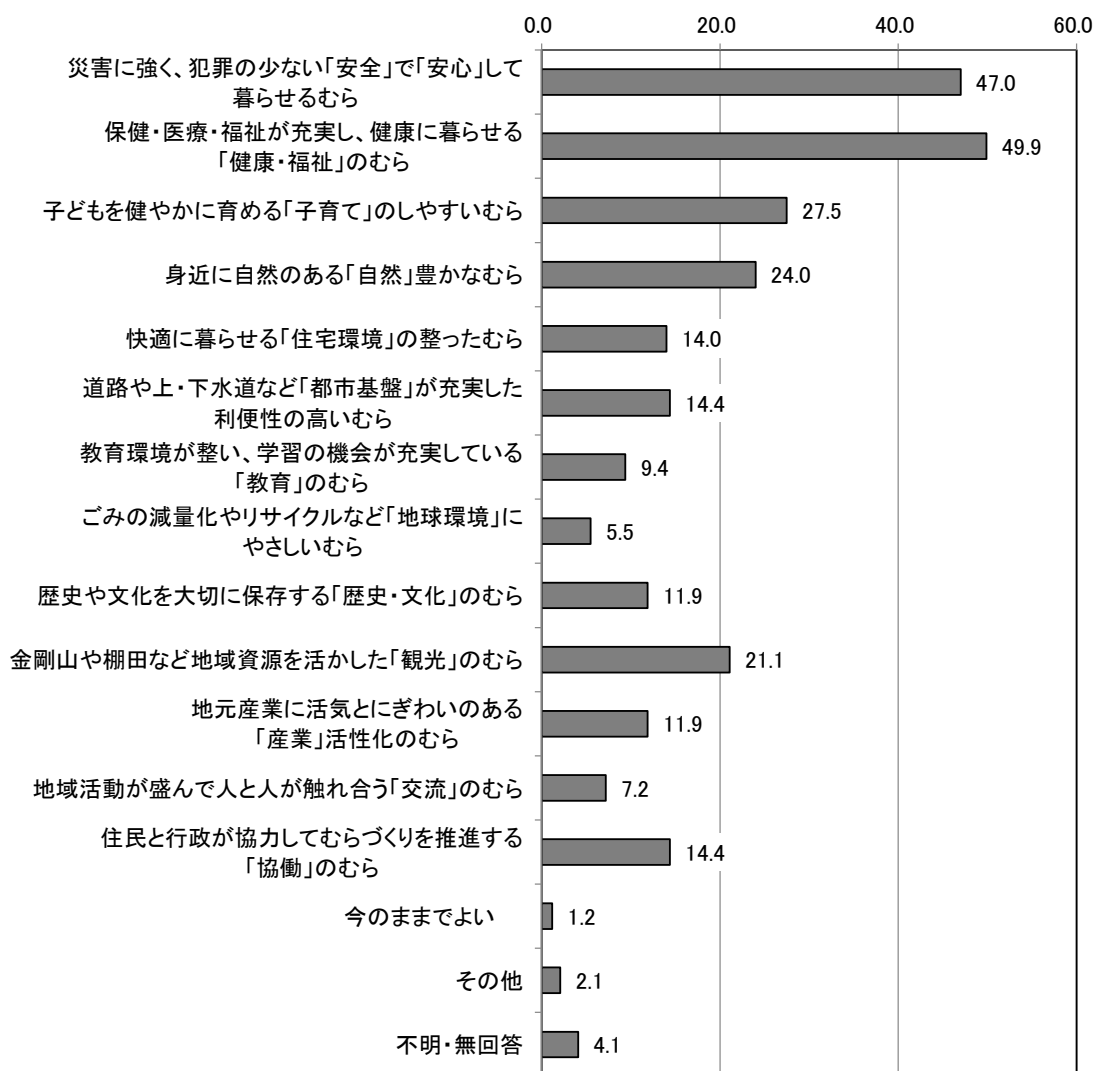
“むら”の将来像については、「保健・医療・福祉が充実し、健康に暮らせる『健康・福祉』のむら」が49.9%と最も高く、次いで「災害に強く、犯罪の少ない『安全』で『安心』して暮らせるむら」が47.0%、「子どもを健やかに育める『子育て』のしやすいむら」が27.5%となっています。

男女別についてみると、「保健・医療・福祉が充実し、健康に暮らせる『健康・福祉』のむら」がそれぞれ46.5%、51.9%と最も高く、次いで「災害に強く、犯罪の少ない『安全』で『安心』して暮らせるむら」がそれぞれ41.8%、50.7%となり、女性の割合が男性よりも高くなっています。

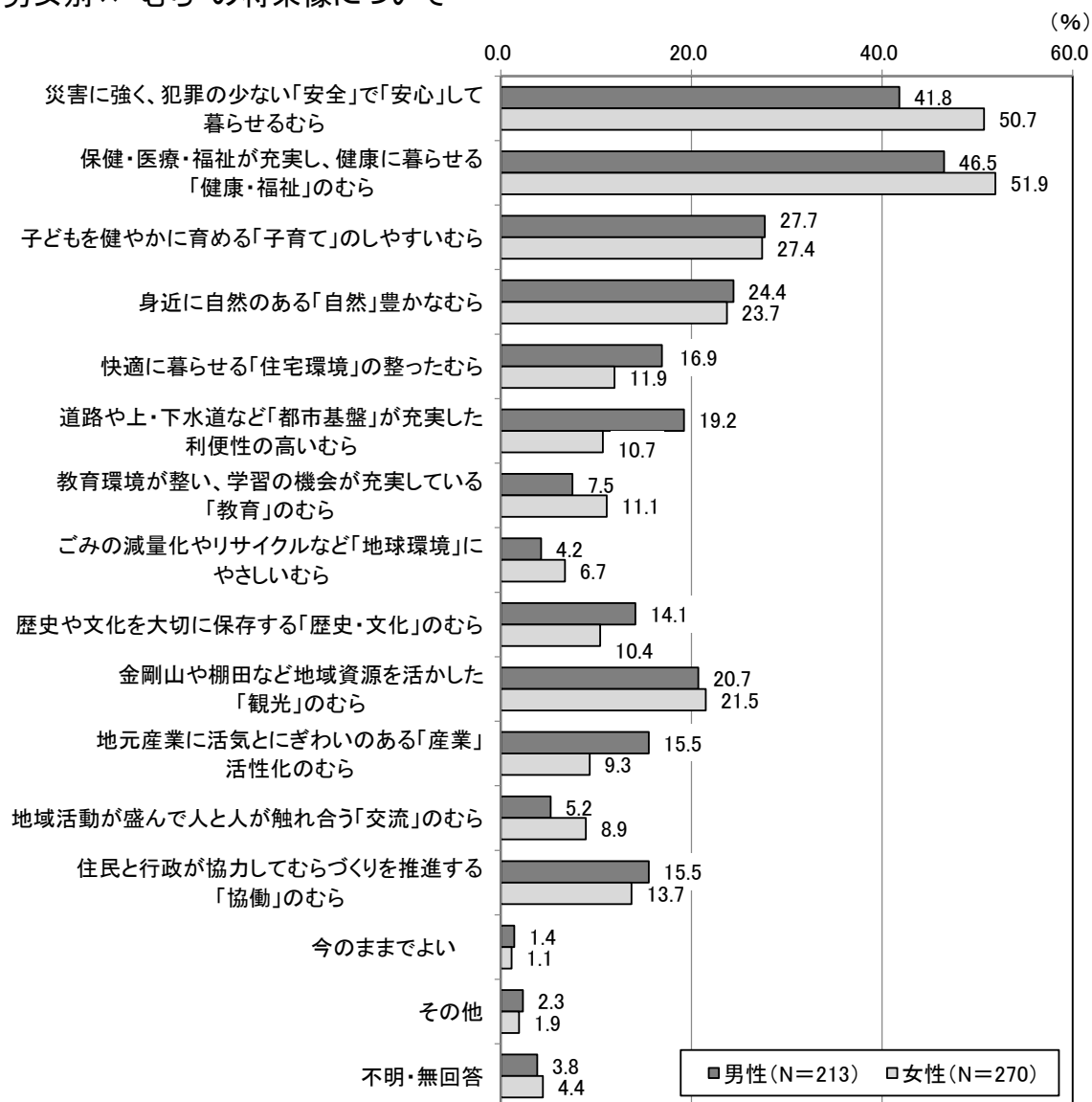
また、年代別にみると40歳代以上では、「保健・医療・福祉が充実し、健康に暮らせる『健康・福祉』のむら」と「災害に強く、犯罪の少ない『安全』で『安心』して暮らせるむら」の割合がおおむね高くなっていますが、30歳代以下では「子どもを健やかに育める『子育て』のしやすいむら」の割合が高くなっています。

(N=487)

(%)



◇男女別×“むら”の将来像について



◇年代別×“むら”の将来像について

上段:度数 下段:%	合計	災害に強く、 犯罪の少ない「安全」で 「安心」して 暮らせる むら	保健・医療・ 福祉が充実 し、健康に暮 らせる「健 康・福祉」の むら	子どもを健 やかに育て る「子育て」 のしやすい むら	身近に自然 のある「自 然」豊かな むら	快適に暮ら せる「住宅環 境」の整った むら	道路や上・ 下水道など 「都市基盤」 が充実した 利便性の高 いむら	歴史や文化 を大切に保 存する「歴 史・文化」の むら	金剛山や棚 田など地域 資源を活か した「観光」 のむら	住民と行政 が協力して むらづくりを 推進する「協 働」のむら
10歳代	4 100.0	1 25.0	3 75.0	2 50.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0
20歳代	19 100.0	6 31.6	4 21.1	7 36.8	2 10.5	4 21.1	5 26.3	3 15.8	6 31.6	2 10.5
30歳代	23 100.0	7 30.4	9 39.1	13 56.5	9 39.1	4 17.4	1 4.3	1 4.3	2 8.7	2 8.7
40歳代	52 100.0	23 44.2	23 44.2	17 32.7	13 25.0	7 13.5	7 13.5	7 13.5	13 25.0	3 5.8
50歳代	63 100.0	24 38.1	24 38.1	21 33.3	18 28.6	12 19.0	9 14.3	6 9.5	21 33.3	12 19.0
60歳代	109 100.0	53 48.6	64 58.7	35 32.1	27 24.8	11 10.1	18 16.5	15 13.8	16 14.7	19 17.4
70歳代	161 100.0	86 53.4	84 52.2	32 19.9	34 21.1	23 14.3	22 13.7	20 12.4	35 21.7	24 14.9
80歳以上	55 100.0	29 52.7	31 56.4	7 12.7	12 21.8	7 12.7	8 14.5	6 10.9	8 14.5	8 14.5

※網掛けは上位2位までの項目

12 むらづくりに対するアイデアや提案（自由意見）

問 26. 最後に、千早赤阪村の現況やこれからのむらづくりなどについて、何かご意見・提案・アイデアなどがあれば、自由にご記入ください。

むらづくりへの自由記述については、カテゴリ別に分類すると、「観光産業の充実」についての意見が最も多く、次いで自然や空き家、子育て支援の充実などによる「移住促進」、移動支援の充実などの「交通の利便性向上」、「金剛山ロープウェイ、香楠荘について」の賛否、「若い世代が住みやすい村」、「自然を活かした村づくり」、「雇用の創出」、「特産品の開発」などが上位にあげられています。キーワードとしては『自然』、『空き家』、『子育て支援』、『交通』などとなっています。行政への希望・要望については割愛しています。

順位	コメント数	カテゴリ	コメント内容(抜粋)
1	14	観光産業の充実	●この村には観光資源となり得るものが多々あるにもかかわらず、それによる収益は少ないのではないかと感じています。道の駅の充実、金剛山ロープウェイ運行、特産物の開発・PRなどまだまだできることはあるのではないのでしょうか。もっと村外に目を向けアイデアの収集を行うことが必要であると思います。 ●都会にはないかまど、堀こたつ、石うす、自然の風、空気を利用した冷房暖房を用いた生活の家等を保護し、人が集まってくる心豊かな観光村作り。(広いバス、自動車の駐車場が必要) ●観光やレクリエーションに力を入れるのも良いかと思う。 ●インスタやSNS等を利用した観光産業の開発。
2	10	移住促進	●村を活性化させるため人口を増やす努力をし、持ち主がいなくなった土地や空き家を利用し移住を希望する若者に安く提供すれば良いと思います。 ●急速な高齢化に対し、若者を増やそうと空き家の活用や移住を推進しているのはわかるが、元々村の良さを知っている村の出身者を戻せるような取り組みの方が、今後の村の存続や発展のためには必要であると思う。その為には、緑豊かな村に住みながらも他の市町村と同じような暮らしができるよう、公共の施設や交通を整えて欲しい。空き家の活用に関心があるよりも、住宅を建てられる土地の整備等が必要なのではと思う。 ●子育てしやすい村、他村から千早赤阪村に住みたいと思うような手厚い支援をする。
2	10	交通の利便性向上	●高齢化の進む村で、老人でも村外に自由に出て行ける交通の便をよくしてほしい。休耕農地を利用して、村立農園にして就労できるようにし人口を増やす。金剛山に車で行けるように道路を作る。 ●現在実施されているタクシー券等の使用に関して、南海バスや福祉タクシーでも使用できるようにしてほしい。 ●公共交通機関の充実は大きな課題であると思います。どのようにすれば人の行き来がしやすいかを考えて頂けることを期待します。

順位	コメント数	カテゴリ	コメント内容(抜粋)
4	8	金剛山ロープウェイ、香楠荘について	●金剛山はたくさんの人々に愛されている希少な山です。年をとっても山へ行けるようにロープウェイは、ぜひ何とか復活して頂きたいと切に思います。 ●ロープウェイは創業以来今日まで 50 年間毎年大赤字であり又運休中でも全村民の生活に支障や不便は無い。この際、廃業してその資本を高齢化する住民の福祉やインフラ整備に活用すべきである。
5	6	若年世代が住みやすいむら	●工場など働ける場所を作り、子育て世代の若い人達に働いてもらう。保育園等子育て支援をして、若い世代が住み易く(働き易く)永く住んでもらえる環境にする。
5	6	自然を活かした村づくり	●都市近郊の自然、歴史・文化を活かした観光のむらづくりを進めていきたいと思います。 ●子どもキャンプなどを取り入れ、アウトドアクッキングやキャンプファイヤーやツリーイングなどをし、若い子供たちにこの千早赤阪村の自然あふれる場の魅力を知ってもらえる取り組みを入れてみるのはどうだろうか。
7	5	雇用の創出	●若い世代の人が村を出て定着しないのは、第1に職場がない事だと思います。子育てができる環境を整えれば人口が増えるのではないのでしょうか。少々不便でもこの自然環境は子育てにとっても良い所だと他所から嫁いで来た私はずっと感じています。職場、空き家の活用、廃校校舎の活用など。
7	5	特産品の開発	●小さな村ですから、色々の施設や施策に取り組むより、大学の研究機関等の指導を受け、不用になっている竹林や間伐材、山野草を活用した特産品を数年かけて開発する努力もあっていいのでは、投資も少なくてすむのではないかな。
9	4	住民と行政の協働や連携	●住民と行政が具体的に協働連携できる仕組みを作る。テーマごとあるいは地域ごとに委員会や協議会を組織し、そこで提案された内容を実現する方向性で検討する。
9	4	合併の促進	●早急に1市2町1村合併出来る様、村長、議長の皆様が努力すべきと思う。(人口減少、少子高齢化の進む現今、合併に助けてもらう他ない。)
9	4	道の駅について	●道の駅は、はっきり言って残念です。せっかくリニューアルしたのに全くと言っていいほど商品(野菜)も少なく、喫茶もやる気が感じられません。地の利を生かしてアスレチックやキャンプ場などアウトドアに力を入れたらもう少し外部からのお客さんも呼びこめるのではないのでしょうか。
9	4	小吹台地区について	●小吹台地区は現在孤立状態であり、森屋と小吹台を結ぶ少し大きい道路を建設し、そこで村内地区をいつでも訪問できるようにして通学・通勤も便利になる。